

歴史と文化を大切にするまちづくりへ



市民のつどい

これでいいの？

北九州市の文化行政

-「埋蔵文化財センターを八幡市民会館に移転、解体・跡地売却」計画を考える-

日時 **11月4日(月・休)**
14:00~16:30 (13:30 受付開始)

会場 **男女共同参画センター・ムーブ**
5階 大セミナールーム
(北九州市小倉北区大手町11番4号 ソレイユホール前)

参加費 **500円**

- 北九州市「出前講演」
「埋蔵文化財センター基本計画 -旧八幡市民会館の活用-について」
講師 **原田智也氏**
市民文化スポーツ局文化企画課埋蔵文化財担当係長
- 講演
「市民と文化財-行政に期待すること-」
講師 **近藤英夫氏**
東海大学名誉教授/日本考古学協会会員(現副会長)
- 「考えてみよう」
-八幡市民会館の価値と保存・活用-
講師 **竹下秀俊氏**
元九州共立大学教授(建築学)
- パネルディスカッション 他

埋蔵文化財センターの
関係職員には相談せず、
三役(市長、副市長、関係
局長)だけで、決定したん
だって?!



素晴らしいホールを
大規模に改造して
収蔵庫にするなんて...
モッタイナイ!



【閉鎖前の八幡市民会館】 八幡東区
地元出身の建築家・村野藤吾氏の設計により1958年に完成。
【貴重な近現代建築物】の保存を、日本建築学会など多くの団体が要望。戦災から復興した八幡駅前大通りの象徴。



【埋蔵文化財センター】 小倉北区
1983年に九州初の考古学専門館として、1階(発掘調査を行う埋文調査室)、2階(考古博物館)、3階(収蔵庫)からなる複合施設として開館。2002年考古博物館は「いのちのたび博物館」(八幡東区)に移転し、発掘調査部門と展示室(戦時資料展示コーナー併設)になった。

36年間培われた機能と利便性、
地域の歴史と文化を発信する大切な
文化施設。耐用年数60年なのに
壊して、跡地を売り飛ばすなんて...
モッタイナイ!



共催 **城野遺跡公園を実現する会 / 八幡市民会館の活用を求める連絡会**

会長 万田守 連絡先 090-3079-6503 (永田)

代表 竹下秀俊 連絡先 090-9563-3815 (三浦)